

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↑  
取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>・「いきいきと 日々健やかに 楽しい暮らし」 さくらのお家独自の理念を作り、地域の皆様に支えられて生活している。</p>	<p>・住み慣れた町でその人らしく家庭的な雰囲気の中で、普通の生活が送れるよう支援していく。</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>・全スタッフ理念を意識し、日々実践している。</p>	<p>○</p> <p>・理念に添ったケアができる様、ミーティング、申し送り時等で常に確認、共有し、スタッフの意思統一につなげていくよう努めていく。</p>
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>・理念を見やすい場所に明示している。また、入居される際に、ご家族に説明し、理解して頂ける様努めている。</p>	<p>○</p> <p>・地域の皆様にはまだ浸透していないため、今後理解していただける場面を作っていく。(新聞発行・運営推進会議)</p>
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>・隣近所と気軽に挨拶、声を掛け合う等、日常的な交流が出来ている。</p>	<p>・季節の野菜や手作り品(かご、門松、しめ縄等)を頂いたり、毎年の梅ちぎりと一緒にしている。</p> <p>・隣近所の葬儀に参列している。</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>・地域の自治会へ加入して、総会、花見、運動会、清掃等に参加し、地域交流を深めている。</p>	<p>・地域の行事にスタッフ、利用者共に参加している</p> <p>・さくらのお家の行事(お月見会、敬老会、母の日)の際に参加の声掛けをし、歌、踊りなどを一緒に楽しめる機会作りをおこなっている。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・スタッフ間では地域貢献の話があがっているが、実現できていない。	○	・地域の行事に参加した際、認知症のことを聞かれ少し説明するぐらいしかできていないため、今後認知症ケアを生かし地域の高齢者を支えていけるよう努める。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・自己評価、外部評価の結果を踏まえて、改善、見直しに努めていく。	○	・評価結果に目を通し、改善できていない部分を皆で話し合い取り組んでいる。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・運営推進会議での意見を参考に、サービス向上に努めている。	○	・運営推進委員会がなかなか開催できず、年2回の会議と紙面での報告をおこなっている。今後は2ヶ月に1回開催できるよう努めていく。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・必要に応じて町役場福祉課に相談し、サービスの向上に取り組んでいる。	○	・町の福祉課、地域包括センター、居宅のケアマネージャーとyの集まりになるべく参加して情報交換していきたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・権利擁護や成年後見制度についての知識がなく活用していない。	○	・必要な利用者に活用できるよう、学習の機会をつくっていく。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・特に学ぶ機会は設けておらず、新聞・ニュース等で話題に上がった際に話し合いをしている程度である。 ・現在さくらのお家では見受けられません。	○	・虐待防止の研修に参加する等、学習に機会を作り、防止に努めていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・入居時に重要事項説明書で納得のいくまで説明し、同意書を頂いている。退去時のご家族と十分に話し合い納得していただいている。		・退去者のほとんどが入院か死亡であり、入院時は医療機関との連携が取れている。また退去後の他施設の紹介、施設側への情報提供などを行い、その際の利用者の状況を把握してご家族の精神的負担の軽減に努めている。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・スタッフは利用者の不満や苦情を受け止めて話し合い、サービス向上につなげている。	○	・今後も利用者が遠慮なくスタッフに苦情や不満を伝えられる雰囲気、関係を作って行きたい。 ・言葉を発しない方の不満・不安を見逃さないケアに取り組んでいく。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回の手紙と、来訪時に状況を報告している。		・月1回請求書送付と一緒に状況報告(手紙、写真、金銭出納帳のコピー等)。 ・職員の異動は来訪時に説明。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族からの不満、苦情を記録し、スタッフで十分に話し合い改善して運営に反映させている。		・ご家族から不満、苦情があった際、すぐにスタッフで話し合い、解決できるよう努めている。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・ミーティング時や、その都度スタッフの意見、提案を聞いており、運営に反映させている。		・月1回の主任会でまとめて話し合う機会があり、急を要する意見や提案はそのつど話し合って解決策を見出し、運営に反映させるよう努めている。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	・利用者の急変や外出、受診等柔軟な対応ができる様、勤務の調整をしている。		・緊急時には他部署より応援あり。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・職員の異動があり利用者、ご家族が不安な思いをすることがあったため、今後最小限に抑えられるよう配慮する。	○	・事業拡大に伴う異動が発生する可能性があるため、その際にどういう配慮が必要かを今後検討していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・年間の研修計画を立て、法人内外の研修に参加できる機会を確保し、ミーティング時に意見交換をおこなっている。		・年間で予算を計上し、スタッフ交互に参加し伝達している。 ・自主研修も積極的に参加している。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・地域のグループホーム協会に入会し、年2～3回参加して情報交換をおこなっている。 ・今後近隣のグループホームとの交流の場を設けて行きたい。	○	・月1回のケアマネージャー連絡会になるべく参加し情報を得たい。 ・始良伊佐地区グループホーム協会の総会と研修(事例検討会)へ参加している。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・親睦会、スポーツ大会、全体ミーティング時の茶話会等でストレス軽減に努めている。		・親睦会(8月 12月) ・スポーツ大会(6月 9月) ・月1回の全体ミーティングでの茶話会 ・各部署で工夫している。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・人事考課シートで個々の6か月後との目標を設定し、向上心がもてるよう努めている。		・個々人が目標を設定しそれを評価することにより、向上心を持ち継続していけるよう努力している。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・入居時に十分利用者の話を聞き、受け止める努力をしている。		・利用者の気持ちを汲みとり、しっかり受け止めて安心していただき、またその思いをスタッフが共有できるよう努めている。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・家族の気持ち、思いを理解できるようコミュニケーションを図り、安心して頂ける様努力している。		・不安なこと、困っていること、分からないことに対して、気持ちを理解し、丁寧に対応するよう努めている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・本人、家族の必要にしている支援を聞き取り、他のサービス利用も含め適切な対応に努めている。		・本人、家族の希望に対してこちらのできること、できないことを明確に伝え、希望に添うような他のサービスの紹介なども行なっている。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・安心して頂ける様、短時間でも雰囲気を感じてもらえるように工夫している。		・サービス決定からサービス開始の間でも、可能であれば短時間でも訪問して頂き、少しでも早く馴染んで頂ける様工夫している。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・本人の意見、気持ちを尊重しつつ、対等に接することにより信頼関係を築いている。		・利用者から意見をもらうことによりスタッフも学びつつ、お互いが支えあう関係を築けるよう努めている。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・家族の意見を参考にして、話し合いながら一緒に支えていく関係を築いている。		・家族の思い、意見をスタッフで共有し、協力を得ながら支えていくことに努めている。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・利用者と家族の関係を理解できるよう努力している。		・行事等には必ず参加の声掛けをし、コミュニケーションの場作りに努めている。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・友人や近所、親戚の方が頻繁に訪れている。		・馴染みの人に気軽に訪問して頂ける様な雰囲気作り、またコミュニケーションを図るよう努めている。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・利用者同士の関係を把握し、関わり合いを大切にしている。		・利用者が孤立しないような空間作り(食堂、ソファの席等)に十分気をつけている。 ・利用者同士の関わりを大切にしており、自然に支えあう関係作りができています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・入院や退去後も家族との連絡を大切にしている。		・入院時のお見舞いや退院後の行き先の相談、死亡後の墓参りや初盆のお参りなど。 ・入院中の方に母の日の食事会に参加していただいた。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・利用者の思い、希望、要望をなるべく詳しく聞き取り、把握に努めている。	○	・今後も利用者の視点での生活作りに努めて行く。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・これまでの生活歴を本人、家族より聞き取り把握している。	○	・把握した内容をスタッフが共有し、ケアに生かしていく。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・日常生活の過ごし方を把握し、個々に合った生活作りをおこなっている。		・申し送りなどで、スタッフが状況を把握できるよう工夫し、必要に応じて話し合いをおこなっている。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・利用者、ご家族、スタッフと話し合い、ケアプランを作成している。	○	・今後も本人、家族との意見交流を行い、ケアプランに反映させていく。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・変化に応じてスタッフで話し合い実践しているが、ケアプランの修正につなげられていない。	○	・ケアプランの修正が必要な際、本人、家族、スタッフで意見交流を行い反映させていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・スタッフ一人ひとりが気づいたことなどを記録し、全員で共有して生かしていけるよう工夫している。	○	・気づいたことや工夫したことを記録し、他スタッフに伝えることで共有し、話し合いを行い活かしていけるように努めている。 ・スタッフの対応、感じたことも詳しく記録する。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・現在特には行なっていない。	○	・要望にこたえられる体制作り、準備が今後の課題である。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・必要に応じて民生委員、消防機関と協力し支援を行なっている。		・今後も地域資源の活用、支援の輪のかくだい、強化に努めて行く。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・同法人内のサービス事業所を訪問している。		・週2回の通所リハビリテーションへの訪問。・今後も利用可能なサービスを活用していく。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・地域包括支援センターとの協働は現在行なっていない。	○	・今後、必要に応じて連携、協働するよう努めて行く。 ・次回の運営推進委員会(8月)に参加を依頼する予定。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・主治医と情報を共有して連携を図り、必要に応じて受診できるよう支援を行い、緊急時にも対応できている。		・月1回の往診と随時受診。 ・週1回の医療連携による看護師の訪問。 ・緊急時の対応のマニュアル化。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・専門医との連携を取っており、必要に応じて相談、受診をおこなっている。		・必要な時に相談、受診が受けられるよう連携の継続、強化。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・毎日状態の報告をして情報の共有を行い、必要に応じて相談を行なっている。		・医療連携の訪問時、毎朝の申し送り等で情報の共有、コミュニケーションを図り、必要に応じて相談するなどして支援につなげている。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・在宅復帰に向けて、病院と情報を共有し連携を取っている。		・在宅復帰に向け主治医と相談し、受診や必要なりハビリ等が受けられるよう連携をおこなっている。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・本人、家族の希望を踏まえて、主治医とも話し合いを持ち、全員が共有できるよう努めている。	○	・本人、家族の希望に添えるよう、今後も主治医を含めた話し合いを行っていく。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・状態に変化があった場合に対応できるよう、チーム支援の体制を整えている。	○	・今後も状態の変化に対応していけるよう、利用者個別に必要なチーム支援のあり方を検討し、整えていく。 ・人材不足が今後の課題である。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	・家族や移り先と話し合い、情報提供をしてスムーズに住み替えが進むように努めている。		・利用者の身体状況、認知力を考慮し、移り先で必要な物、対応などを提案している。



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・個人の尊厳を損なわないような関わり、また個人情報が外部にもれないよう努めている。	・スタッフ間でお互いのかかわりについての意見交流 ・個人情報の取り扱いの徹底。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・本人の意向、持っている力に合わせた働きかけ、自己決定・自己実現できるよう配慮している。	・一日の生活の中で、自己決定する場面を個々の力に応じて作っていきけるよう配慮していく。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・本人のやりたいこと、またスタッフが決めたことでも本人の思いを大切にするよう努めている。	・スタッフのペースにならないよう、またスタッフ間でお互いに指摘して気づき合えるような関係作りに努めていく。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・希望に応じた支援に努めている。	・いきつけ、または希望の店や希望のものが使用できるよう支援、配慮している。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・食事の盛付、片付け等、スタッフと楽しみながらおこなっている。	・少しでも利用者の持っている力が発揮できるよう、支援していく。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・満足して頂ける様、本人の希望にあわせる努力をおこなっている。	・利用者が希望したり、好きなものを選択できる場面を作るよう努めていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・気持ちよく排泄して頂ける様、支援している。		・個々の排泄のリズムを把握し、声かけ等により支援に努めている。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・本人の希望にあわせて支援している。		・入浴日などは設定せず、毎日声かけを行い、入浴を楽しめるよう支援している。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・安心して休息が取れるよう、支援している。		・体調、リズムに合わせて声かけをし、休息が取れるように支援していく。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・個々の力が発揮できるような役割、楽しみ作りに努めている。		・炊事、洗濯、掃除、買い物などをスタッフと一緒にしない、満足感、達成感が得れるような支援を行なっている。 ・レクリエーションにより生活の中に楽しみが持てるよう努めている。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・スタッフが管理しているが、希望に応じて使えるよう支援している。		・買物時には本人が所持し、希望のものを購入して頂ける様支援している。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・希望に添うよう外出の機会を設けている。		・散歩やドライブ等、外出の楽しみが持てるよう支援している。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・本人の希望、季節などに応じて、外出する機会を設けている。		・外出時にはできるだけ全員が出来るように配慮し、家族へも参加を促している。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・本人が電話をしたり、手紙を出せるよう支援している。		・希望に応じて電話を使ったり、ハガキを準備するなどの支援を行なっている。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・気軽に訪問して頂ける様な雰囲気作りに心がけている。		・スタッフが挨拶やコミュニケーションに心がけ、利用者の居室などで気兼ねなく過ごして頂けるよう配慮している。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・身体拘束の理解に努め、ケアに取り組んでいる。		・法人内の身体拘束委員会と連携し、身体拘束防止に取り組んでいる。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・日中居室や玄関に鍵をかけないよう、取り組んでいる。		・離設の可能性のある利用者に対しては見守りや玄関に鈴をつけるなどの工夫をしている。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・日中の見守りや夜間の見回りを行い、安全に配慮している。		・日中はスタッフが連携して見守りを行い、夜間は夜勤者が随時居室を見回り様子を把握している。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・注意の必要なものに関しては、日常的にスタッフが把握するよう努めている。		・個々に注意が必要なものをスタッフが把握し、今どこにあるかを全員が把握できるよう努めている。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・利用者個々人の状況を把握し、事故を未然に防げるよう努めている。		・一人ひとりの状況(歩行、嚥下、認知力など)をスタッフが共有し、必要な援助を統一して行なえるよう努めている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・防災訓練や看護師の指導を受け、適切な処置ができる様訓練を行なっている。	○	・防災訓練時に緊急蘇生法の講習を受けたり、利用者の急変時の見極めや適切な処置について助言、指導を受けている。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・年2回の防災訓練を行ない、その際に地域の方の協力を頂ける様連携している。	○	・災害時の避難場所は近くの交流センターへ。 ・地区の班長、民生委員、近隣の協力が得られるよう働きかけている。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	・入居時に起こりうるリスクについて家族に十分説明している。		・特にドライブ中の事故について。 ・転倒の危険性について。
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・毎日バイタルチェックを行なっている。 ・観察に努め、必要に応じて主治医と連携し対応している。		・今後も日々のバイタルチェックをつづけていく。 ・体調の変化、異変時に速やかに対応できるよう、主治医との連携を深めていく。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・利用者一人ひとりの薬の把握、理解に努めており、服用後も見守り、観察を行なっている。		・スタッフが薬について理解、把握をしやすいよう工夫しており、服用後の状態について気になることは主治医に連絡し情報を伝え指示を仰いでいる。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・利用者一人ひとりの排便を把握。 ・体操などを定期的に行っている。		・利用者の排便を把握し、排便のない日が続いた場合は利用者の状態に合わせて薬を使用し、排便を促している。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・毎食後、利用者に声をかけ、支援を行なっている。		・歯のない方にはガーゼを使用して口腔ケアを行なっている。 ・毎食後の口腔ケアの徹底。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・一人ひとりの状態を把握し、必要な支援を行なっている。		・血圧、体温、食事量、排泄の量、回数などを把握し、必要に応じて支援している。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	・法人内の院内感染委員会の指示に従い、対応している。		・院内感染委員会の製作したマニュアルに従い、予防、対応に取り組んでいる。 ・年1回利用者、スタッフ全員インフルエンザの予防接種をおこなっている。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・法人内の院内感染委員会の指示に従い、対応している。		・院内感染委員会の製作したマニュアルに従い、台所、調理器具、冷蔵庫などを清潔に保つよう心がけている。また、購入した食材はなるべくその日に使い切るよう心がけている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・外部の方が親しみを持って、気兼ねなく出入りできるよう工夫している。		・玄関先の清掃や、ベンチの設置、花を飾ったりして親しみがもてたり話題づくりになるよう心がけている。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・利用者が安心して気持ちよく過ごせる様な空間作り、また楽しめるような変化をもたせるよう工夫している。		・季節のものを飾ったり、定期的に壁画を作り変え飾るなど。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・利用者一人ひとりの状態、性格、利用者間の関係を把握し、それぞれが落ち着けるような空間設定に心がけている。		・今後も利用者の状況に合わせて空間作りを工夫するよう努めていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・入居時に本人、家族と相談し、使い慣れたものや好みのものを使用し、居心地の良いよう工夫している。		・今まで使っていたベッド、タンス、テレビ等を持ち込み使用していただいている。また生活の中で希望のものが出てきたときは家族とも相談して対応している。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・一日2～3回換気に努め、温度調節をこまめに行なっている。		・必要に応じてエアコン等も使用し、換気、空調に配慮している。
<b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・利用者の状況に合わせて、自立した生活を送るのに必要な工夫をしている。		・廊下、トイレ、風呂場の手すり、その他テーブルや椅子などの配置を工夫している。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・声掛けや表示等により、生活しやすいように工夫している。		・利用者一人ひとりに合わせた適切な声掛けや、場所の表示、居室の名札等を使い工夫している。 ・日めくりカレンダーを使用し、毎日の日課にしている。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・建物周辺を整え、活動できるよう工夫している。		・花壇に花を植えたり、庭での食事、レクリエーションを行なっている。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある
		<input type="radio"/> ②数日に1回程度ある
		<input type="radio"/> ③たまにある
		<input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと
		<input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと
		<input type="radio"/> ④ほとんどできていない

項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・開設8年目のさくらのお家は、立地条件が良く住宅街の中にあって公園、スーパー、病院も歩いていける距離にあり、散歩や買物時に地域の方が良く声かけ、季節の野菜を頻繁に届けてくれたり行事等に参加してくださっています。年1回の月見会の時は地域の方を招待、利用者、ご家族、スタッフと共に食事、一杯飲みながら交流を深めています。
- ・利用者同士がお互い自然に支えあって生活しておられる姿にスタッフが刺激を受け支えられております。
- ・遠方に居られるご家族の帰省時、体調不良時等いつでも利用者と安心して過ごして頂けるよう宿泊や食事提供ができる様な環境づくりを行なっています。
- ・2ヶ月に一度ぐらいボランティア（ご家族の方）が来訪、ちぎり絵を教えていただいています。今後踊り、習字等利用者の要望に応じ取り組んでいきたい。
- ・たまに学習療法（足し算、引き算、読み書き）や日記の継続。
- ・年6～7回両ユニット合同のレクリエーション（花見、焼肉会、敬老会、運動会他）。